

令和6年度 学校経営計画

杉並区立井草中学校

校長 田口 克敏

〔教育目標〕 「自主自律 ー創造性 豊かな心 健やかな身体ー」

〔基本理念〕 「すべては子供たちのために」
「教師が伸びる、子供が伸びる」
「自らの Grow を追究し続け、世の中に貢献し未来を拓く人材の育成」
○井草中学校の全職員の判断・行動基準は「子供にとってどうなのか」に置く
○井草中学校の全生徒・職員は、個としての自立を実現する
○井草中学校の全生徒・職員は、自分自身の成長を追究し続ける

1 基本方針

- (1) 日本国憲法、教育基本法、学校教育法、学校教育法施行規則等の諸法令及び学習指導要領、東京都教育ビジョン（第4次）、杉並区教育ビジョン2022等を踏まえ、本校の特性に応じた教育活動を行う
- (2) 「生きて働く『知識・技能』の習得」「未知の状況にも対応できる『思考力・判断力・表現力等』の育成」「学びを人生や社会に生かそうとする『学びに向かう力・人間性等』の涵養」を学校教育の柱とする
- (3) すべての学校職員が、チームとして各種教育活動を「意図的（何のために）・計画的（いつまでに／タイムマネジメント）に企画・立案」し、「組織的（属人的ではなく）・機能的（無理／無駄を省く）」に運営・実行することで、より良い成果を挙げる
- (4) 家庭等との意思疎通を進んで図り、そのニーズを把握し、学校として期待される使命を果たす
- (5) 世の中の諸事象に対し、生徒・教職員が進んで関心をもち、教育活動に地域人材や多様な機関等を積極的に活用し、社会に開かれた教育活動としてその質を向上させるとともに厚みをもたせる

2 経営の方針

- ◎ (1) すべての教育活動において生徒を適切に「見取り」、生徒の多様な活動に対し丁寧に「価値付け」を行い、活動の成果を生徒が日常的に実感できる環境を引き続き実現していく
- ◎ (2) 「学びの構造転換」をグループ学習などを取り入れた形式的な段階から、学んだことを活用する力を育成するなどの実質的な段階へと引き上げる教育実践を推進していく
- (3) ICTを適切に活用した授業を一層充実させるだけでなく、次代を見据えて「生成AI」などのツールの効果的な活用法も追究した教育活動を展開していく
- (4) 実態調査（例として「授業評価」「自尊感情調査」など）を実施し、生徒・教職員が共に成長し続け、世の中に貢献し未来を拓く人材となる契機としていく
- (5) 「地域社会」との「双方向的」な連携・協力体制を発展させ「生徒（家庭）・学校・地域」の三者による「Happy Triangle」を構築していくために、「学校運営協議会」「学校支援本部」「地教連」との連携を常態化させ、その協調構造を確立させていく

3 目指す生徒像

- (1) 学ぶ意義を理解し、主体的に学び考え判断し、自律的に行動できる生徒
- (2) 自己の課題を意識し、目標を設定し、自己実現を図れる生徒
- ◎ (3) 学校の教育活動を通して自立する意識を自ら育て、世の中と自己との関わりを理解し、社会に貢献する意欲をもつ生徒
- (4) 自己の心身の健康に関心をもち、授業・学校行事・部活動等を通して、たくましさを身に付ける生徒
- ◎ (5) 持続可能な社会の担い手として、未来社会を切り拓くための資質・能力の基礎を備えた生徒

4 目指す学校像

- ◎ (1) 生徒の主体性を尊重し、的確な判断力で自らを律し行動できる生徒で構成される学校
- ◎ (2) 多様な社会各層と連携協力し、それらの力を活用するとともに、時代が求める力の基盤を生徒に身に付けさせる指導技術を有する教師がいる学校
- (3) 生徒・教職員が自らの Grow を追究し続ける学校
- (4) 生徒の安全・安心、体力増進等に配慮ができる学校
- (5) 保護者・地域との信頼関係を育み、その関心を高めさせ、協力して生徒の育成を図れる学校

5 目指す教師像

- ◎ (1) 多様な見方や考え方を養い、独善に陥らず多面的に生徒理解に努めるとともに、すべての教育活動を通して生徒を適切に見取り、その思考や判断、表現等への価値付けを丁寧に行い、時代に対応した資質能力向上・指導力向上をたゆまず図ることができる教師
- ◎ (2) 生徒の「自主自律」とともに、自身の「自主自律」を具現化してゆける教師
- (3) 特別活動等の意義や重要性を踏まえ、生徒の成長のために積極的に活用していく教師
- (4) 教育公務員としての自覚と責任をもち、杉並区立井草中学校教職員集団の一員として、協調しながら「タイムマネジメント」を図り計画的に職務を遂行できる教師
- ◎ (5) 現代社会の中における学校の位置づけを理解するとともに進んで社会と連携し、持続可能な社会を生きる生徒にとって「意義ある学び」を提供することができる教師

※「◎」は「令和6年度の重点事項」